

JGAP/ASIAGAPは、食の安全や環境保全に取り組む農場に与えられる認証です。

# JGAP

Japan Good Agricultural Practice

日本GAP協会は、JGAP/ASIAGAPの普及を通して、安全性の高い農産物の生産と環境に優しい農業の実現に貢献します。

## JGAP/ASIAGAP基準書

GAPは、農場やJA（農協）等の生産者団体が活用する農場管理の基準です。JGAP/ASIAGAPには、農場運営、食品安全、環境保全、労働安全、人権の尊重に関する内容が定められています。

### JGAP (旧 JGAP Basic) 基準書

- 青果物2016 ●穀物2016 ●茶2016
- 団体2016 ●総合規則【農産物】2017
- 家畜・畜産物2017 ●総合規則【家畜・畜産物】2017



■JGAPは、日本の標準的なGAPとして、必要十分な内容を備えています。

■家畜・畜産物は、乳用牛、肉用牛、豚、採卵鶏、肉用鶏の生体と生乳、鶏卵を対象としており、上記の内容に加えて、家畜衛生、アニマルウェルフェアへの配慮といった畜産特有の内容を含んでいます。

### ASIAGAP (旧 JGAP Advance) 基準書

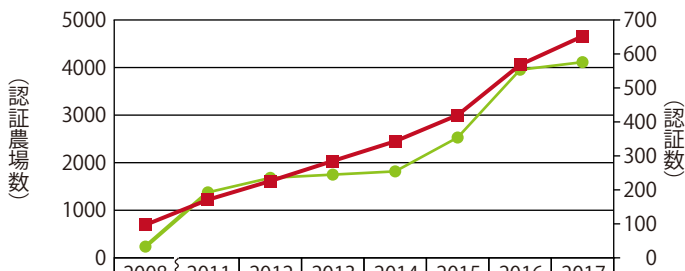
- 青果物ver.2 ●穀物ver.2 ●茶ver.2
- 団体ver.2 ●総合規則2017



■GFSIの承認による国際規格化と、アジア共通のGAPのプラットフォームづくりを目指し、栽培工程を含む生産工程全体に関するリスク評価や食品防御、食品偽装の防止、供給者の管理、水を保管する場合の衛生管理等、JGAPの内容に加えてGFSI特有の要求事項を含んでいます。

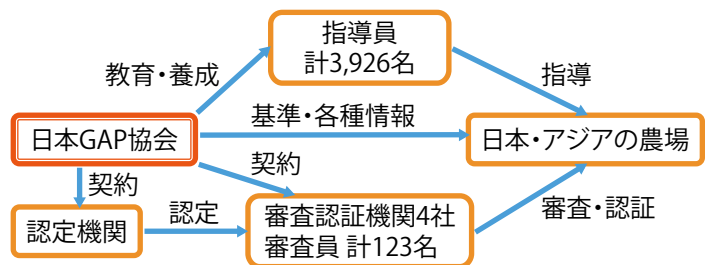
■グローバル企業等が要求する労務管理に関する詳細な要求事項も含んでいます。

## JGAP/ASIAGAP認証農場は4,113農場 (2017年3月末)



※各年3月末

## JGAP/ASIAGAP指導・普及の体制と仕組み



※家畜・畜産物では日本GAP協会による認定も含む  
※2017年3月時点

『第14回グリーン購入大賞』  
優秀賞受賞

※環境保全型農業を拡大していく仕組みとして機能している点が評価されました。



まじめで意欲のある農業者が正しく評価される社会を創る

一般財団法人日本GAP協会

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3番29号

日本農業研究所ビル4階

TEL 03-5215-1112 / FAX 03-5215-1113 <http://jgap.jp>

## 日本GAP協会の歩み

- 2006年11月 NPO法人日本GAP協会として設立
- 2007年11月 JGAPの第三者認証制度がスタート
- 2008年10月 日本GAP協会基本方針および行動目標策定
- 2010年 6月 JGAP青果物2010を発表  
農水省ガイドラインに対応
- 2010年 7月 JGAP認証農場マークの運用を開始
- 2013年 7月 JGAP英語版の発表  
JGAP取組宣言制度の開始
- 2015年 1月 一般財団法人日本GAP協会に組織変更
- 2016年 5月 Basic及びAdvanceの2本立てとなる  
「JGAP2016」を発表
- 2017年 3月 「JGAP 家畜・畜産物」を発表
- 2017年 7月 GFSI BRV7※に対応したASIAGAPを発表  
※GFSI Benchmarking Requirements Version7

## 日本GAP協会 役員一覧 ※2017年4月～

- ・評議員  
上杉登 一般社団法人全国肥料商連合会 会長  
木内博一 農事組合法人和郷園 代表理事  
高木勇樹 NPO法人日本プロ農業総合支援機構 理事長
- ・代表理事  
荘林幹太郎 学習院女子大学国際文化交流学部 教授
- ・理事  
岩元明久 一般社団法人全国農業改良普及支援協会 常務理事  
澤田一彦 株式会社フリーデン 相談役  
中嶋康博 東京大学大学院農学生命科学研究科 教授  
松井俊一 三菱商事株式会社 顧問  
松丸正明 イーサポートリンク株式会社 取締役
- ・監事  
武田泰明 NPO法人アジアGAP総合研究所 専務理事

## JGAP/ASIAGAPを学んでみよう! (各種研修)

### 初級 (2日間コース)

#### JGAP指導員 基礎研修

JGAPの基礎の学習から、ケーススタディを用いた実習まで行います。現場での指導に役立つ実務者向けの研修であり、GAP初心者にも最適な内容です。

### 初級～上級 (2日間コース)

#### GAPの産地リーダー養成研修

生産者団体 (JAなど) でJGAPに取り組む方法を学びます。実習を通して、JGAP団体認証のノウハウと生産者団体マネジメントの最先端テクニックを学びます。JGAP団体内部監査員の資格取得に必要な研修です。

### 初級～中級 (1日コース)

#### JGAP指導員 現地研修

農場へのJGAP指導方法を学びます。JGAP認証を取得した農場を訪問し、研修を受けます。事例を通してJGAP導入方法や取り組み方 (農場管理の手順)、JGAPの活用方法について学ぶことができます。

### JGAP指導員資格更新

#### (インターネット研修)

#### JGAP定期研修

JGAPで定めている基準について、農場の写真や帳票類を通して具体的な取り組み方を学ぶことができます。JGAP指導員としての知識と技術の向上に活用できます。インターネットを利用できる環境があれば、どこでも受講することができます。

ASIAGAPに対応する研修も近々開始します。  
研修情報は随時更新しています。日本GAP協会ホームページ (<http://jgap.jp>) をご覧ください。

## 日本GAP協会の会員になりませんか

日本GAP協会は、唯一、日本発の本格的な国際水準のGAPであるJGAP/ASIAGAPの開発・運営をしている民間の非営利団体です。2017年3月末現在、趣旨に賛同する306社の会員とともに活動しております。

日本の農業界・流通業界全体で議論しながら、共通の財産としてJGAP/ASIAGAPを育てています。皆さんも日本GAP協会の会員となり、一緒に活動し、日本、そしてアジアの農業・食品産業の発展に貢献しませんか。

### ■正会員会費 (消費税課税対象外)

#### ●農業生産者

年会費: 10,000円/口 (1農場の場合)

(2農場以上で団体を構成している場合、その構成農場数に合わせて、年会費の割引制度があります。)

#### ●小売・中食・外食・食品メーカー、農業関連企業・団体、その他

年会費: 100,000円/口

(資本金 3億円以上: 3口以上

資本金 5,000万円以上: 2口以上 その他: 1口以上)

### ■情報・購読会員会費 (税別)

年会費: 個人の場合 …………… 10,000円

法人・団体の場合 …………… 100,000円

会員には、様々な会員特典が用意されています。

会員に関する詳細情報は、日本GAP協会ホームページ

(<http://jgap.jp>) または、入会案内担当

(TEL: 03-5215-1112 メール: [info@jgap.jp](mailto:info@jgap.jp)) まで。